

# 使い方ガイド

Design is how it works.

—Steve Jobs

## ファイル構成

```
└── Makefile
└── [your_note].md
└── [your_note].pdf
└── style.css
```

### Makefile

- このファイルにより, pdf化のための長いコマンドを入力する必要がなくなります.
- シンタックスハイライトは, デフォルトでは github スタイルになっています.  
md-to-pdf の --highlight-style オプションは, 内部的に highlight.js を用いているため, そのスタイルならなんでも指定できます. (<https://github.com/highlightjs/highlight.js/tree/main/src/styles> を参照.)
- pdfを作成したいときはただ一言, " make ".

### [your\_note].md

あなたの作るノートです.

### ヘッダとフッタの作り方

ヘッダ, フッタを作成できます. 以下は一例です.

```
---
pdf_options:
  displayHeaderFooter: true
  headerTemplate: /-
    <style>
      .header {
        width: 100%;
        padding: 0 20px;
```

```

    font-family: 'Avenir', 'Zen Kaku Gothic New', sans-serif;
    font-style: italic;
    color: #ddd;
    font-size: 11px;
}
</style>
<section class="header">
    <!-- Your Header -->
    Header
</section>
footerTemplate: / -
<style>
.footer {
    margin: 0 auto;
    font-family: 'Avenir', 'Zen Kaku Gothic New', sans-serif;
    font-style: italic;
    color: #aaa;
    font-size: 11px;
}
</style>
<section class="footer">
    <!-- Your Footer -->
    <span class="pageNumber"></span> / <span class="totalPages"></span>
</section>
---
---
```

## [your\_note].pdf

- make コマンドによって得られる、PDF成果物です。

## style.css

- このcssファイルをカスタムすることで、思いのままに文書をスタイルリングできます。
- css変数を用いることで、保守性の高いスタイルリングが可能になっています。

以下にCSS変数の概要を示します:

変数	用途
--[色名]-...	パレットカラー
--clr-...	セマンティックカラー
--radius-...	角丸
--space-...	余白
--fz-...	フォントサイズ

--lh-...	行間
--font-...	フォントファミリー
--page-...	ページ設定

## Let's Get Started!

これからはあなたの番です! 以下の手順で進めましょう:

1. 当Markdownファイルの内容を全て削除する  
[tips] vimをお使いのあなたへ... :%d でファイルの全内容を削除.
2. 何か書く
3. make コマンドを入力してpdfを作成する